

3かそのはうす

計画地 :埼玉県さいたま市緑区

プログラム:集合住宅、コワーキングカフェ

ポップアップストア、バス停

構造 :壁構造

敷地面積 : 1956.5 ㎡ (みそのはうす)

建坪率: 56.8%容積率: 112.8%

設計 意匠:飯田浩代 チームリーダー

: 米延美咲

地域防災 :井地裕花 地域活性 :赤荻翔基

オンラインにて他キャンパスの学生と BIM を用いたデジタルプラットフォームの構築





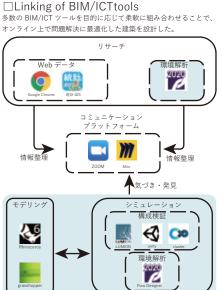
他学科他研究室 メンバー4人

Site 埼玉県さいたま市緑区浦和美園 Oomiya Urawamisono Urawa Higasikawaguti Minami Urawa Soka

Concept

COVID-19 より変化する社会において、ニュータウンでの新しい暮らし方の提案。自然環境 と調和した暮らしを豊かにするコンパクトシティの構築。





Date Federtion

Design Flow 多種多様な情報を BIM というデジタルプラットフォームを利用することで、設計者間の合意形成を円滑化し、問題解決に向けて最適化した建築デザインを導く。



分析をもとに風解析を行い、対象敷地の選定

phase 2 ゾーニンク

冬至: 北西部のボリュームを上げ、北風を抑制

□解析を行いながら住宅ボリューム検討

う、小道を設けるようにボリューム検討を行った。

住宅が街の中にを散策しているようにするために、住宅内に『中道』とい



phase 3 ボリューム検討

□モデリングと検証を同時並行で進める

モデリングを疑似体験させ、気づき・発見をその場で修正しながら設計を進める。cluster を用 いることで、メンバーと立体構成の把握を円滑化した。



LUMION にて詳細なマテリアルや植栽計画を決める



空間体験

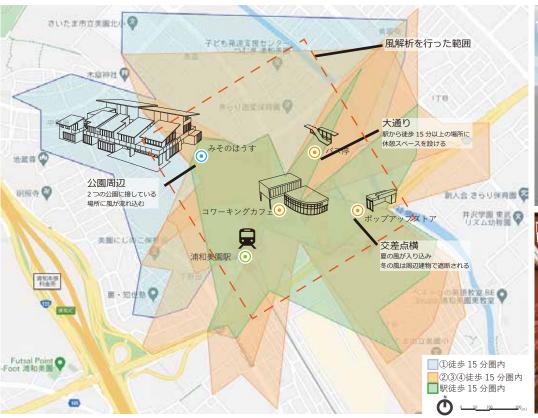
Co

phase4 モデリング・シミュレーション

ボップアップストア

Master Plan 歩いて暮らせる街、ここが私の庭

自身の役割



Perspective









Section



